

①耳石標識 耳石標識の確認

検鏡時のポイント

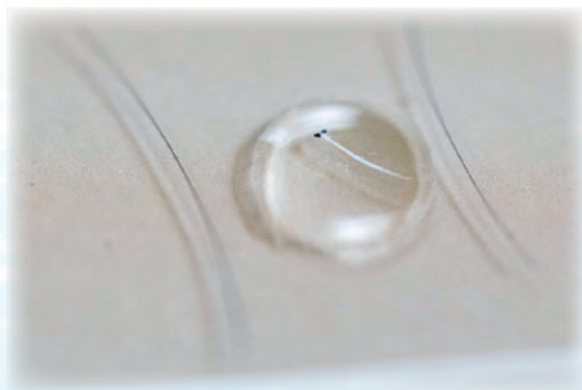
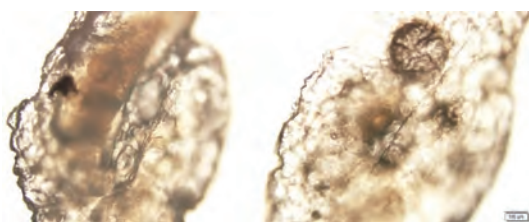


写真1 仔魚と釣り糸の様子

耳石の表裏に気をつけろ!



裏面

観察面

写真2 耳石の表裏



100倍

200倍

写真3 顕微鏡下の視野

コア(核)を探せ!

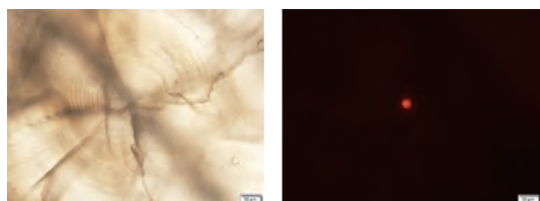


写真4 耳石の中心核

- サンプルは**冷凍**で保存します。
- 仔魚の検鏡の場合、ブリッジとして**釣り糸**(0.3号)をのせたスライドグラス(写真1)に少量の水と仔魚を置き、カバーグラスをのせて検鏡します。
- 成長したワカサギの場合、**耳石**を**取り出して**、少量の水と共にスライドグラスにのせて検鏡します。
- 倍率100倍で耳石を探し、表裏を確認(写真2)してから倍率200倍(写真3)で**耳石核**にピントを合わせて(写真4)検鏡します。
- 標識確認には蛍光顕微鏡を用いて、**G励起光**を照射します。



①耳石標識 放流～サンプリング

小規模湖沼への放流とサンプリング



写真5 標識卵のふ化放流の様子



写真6 採捕したワカサギ仔魚

- 小規模湖沼へ**標識卵をふ化放流**し(写真5)、放流から約1ヶ月後にふ化仔魚をサンプリングしました(写真6)。
- 湖岸を泳ぐ仔魚の群れを金魚網等の目の細かい網で掬ってサンプリングしました。

標識の確認



図2 ふ化稚魚の耳石 (標識あり)

- 採捕したワカサギ稚魚(全長2cm)の耳石を顕微鏡下で観察したところ、標識を確認でき(図2)、本耳石標識が**野外調査に有効**であると考えられました。